

マンガで考える。 どうして『めざす働き方』を考えることが重要なのか？

パターン1 「めざす働き方」を考えられていない人



パターン2 外的キャリアに偏った人

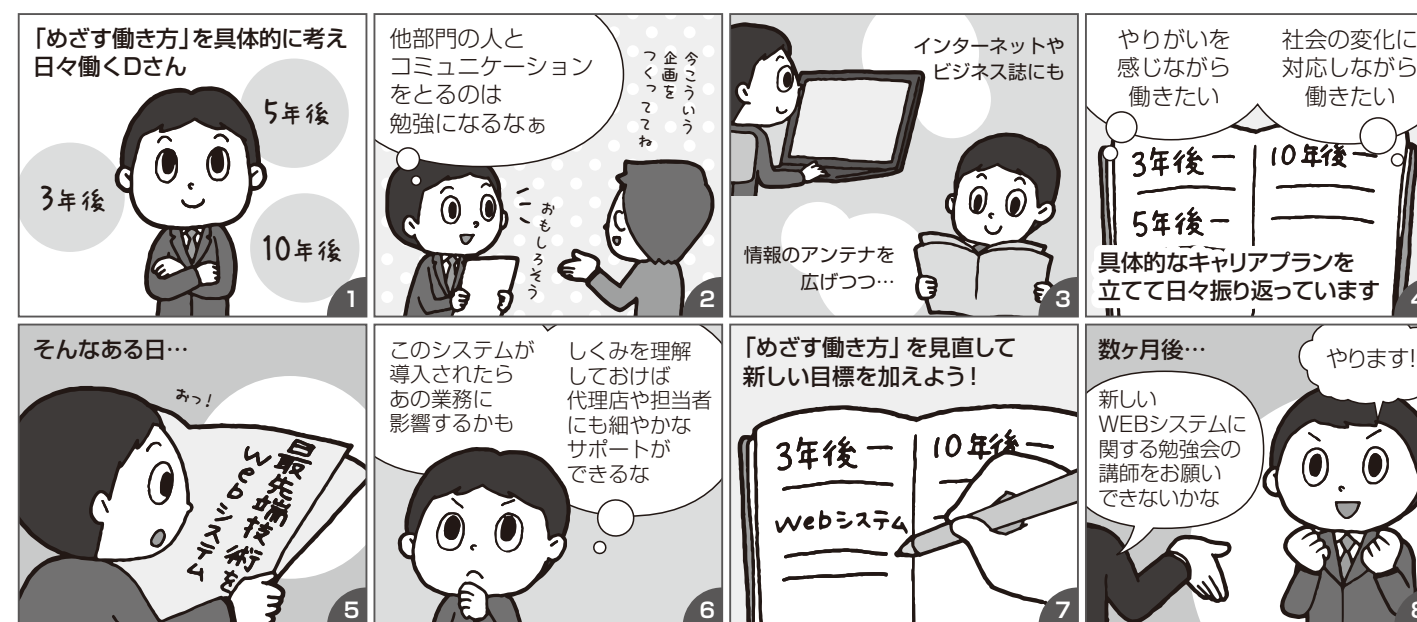


環境変化を捉えながら『めざす働き方』を考え、行動している人と、日々の仕事に一生懸命ではあるものの、自らのありたい姿までは考えられていない人。あるいは、外的キャリアに偏った見方をしていたり、環境変化を捉えられていない人。働き方にどのような違いが出てくるのでしょうか？マンガを読んでイメージしてみましょう。

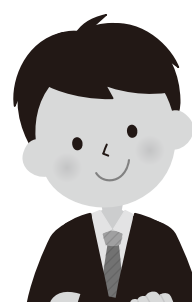
パターン3 将来の環境変化を捉えられていない人



パターン4 環境変化も捉えながらめざす働き方を考え、行動している人



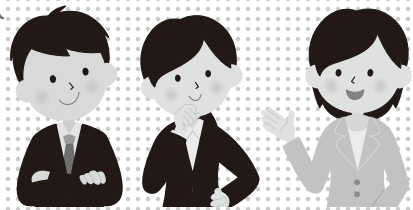
あなたの現状に最も近いのは、どのパターンですか？
また、理想的なのはどのパターンですか？
自分に置き換えて考えてみましょう。



自ら『めざす働き方』を考えることの重要性和、将来の環境変化を捉えながら、さらに「めざす働き方」を見つめ直していくプロセスについて、裏面の解説を基にポイントをおさえていきましょう！

なぜ、「めざす働き方」を考えることが重要なんだろう？

長い仕事人生、「働きがい・やりがい」を感じながら、充実して働きたい！



あなたが「働きがい・やりがい」を感じながら充実して働いている姿、「こうありたい、こう働きたい」という姿を具体的に表したものが、それが「めざす働き方」です。「めざす働き方」を考え、しっかりと認識することで、そこに到達するための道のりや取るべき行動が明確になってくることでしょう。皆さんのなかには、忙しくて「めざす働き方」を考える暇がない、あまり考えたことがない、という方も少なくないのではないでしょうか。しかし、そのままでは「働きがい・やりがい」を感じながら働く自分に到達することは困難です。

皆さんも、「めざす働き方」を考えることからはじめてみませんか？

「めざす働き方」を考えるうえで重要なことは？

☑ 自ら「めざす働き方」を考える

ビジネス環境の変化や価値観の多様化にともない、「仕事だけではなく、私生活も大切にしたい」「業務には懸命に取り組むが、昇進は望まない」など、私たちの価値観は多様化してきています。こうした状況のなかでは、従来のように多くの従業員が志向する働き方の典型例を企業側から示すことの困難さは増しており、私たちが「働きがい・やりがい」を実感するには、“自ら”「めざす働き方」を考えることが一層重要になっています。

☑ 内的キャリアも重視する

経済・社会環境の変化に対応するため、企業は事業戦略や組織構造、業務プロセスの見直しなどをすすめています。これにともない企業が従業員に求める業務や役割も変化しています。知識・スキル・経験や職種・職位といったいわゆる「外的キャリア」のみを重視するだけでは、「これまで培ってきたことが十分に生かせない」「望んでいた職種・職位に就けなくなった」というように、「働きがい・やりがい」を十分に実感できなくなる状況も生じてきています。こうしたことを避けるためにも、「めざす働き方」を考えるにあたっては、「外的キャリア」だけにこだわらず、働く意義や動機などの「働くことに対する価値観」、いわゆる「内的キャリア」も重視しなくてはなりません。



☑ 将来の環境変化を捉え、「めざす働き方」を適宜見直していく

今後を見据えれば、IT技術のさらなる進展や社会インフラの高度化など、働く者を取り巻く環境変化のさらなる加速が想定されます。こうした環境変化は、新たな働き方を創出する反面、従来型の働き方が淘汰されていくということも意味し、私たちが志向する外的・内的キャリアにも影響すると考えられます。またそれにより、「めざす働き方」やその実現に向けた行動にも変化が生じ得ます。したがって、「めざす働き方」やその実現に向けた行動を考えるうえでは、あらかじめ将来の環境変化を見据えておくことはもちろん、新たな環境変化を認識した際にこれらを適宜見直していく必要があるのです。

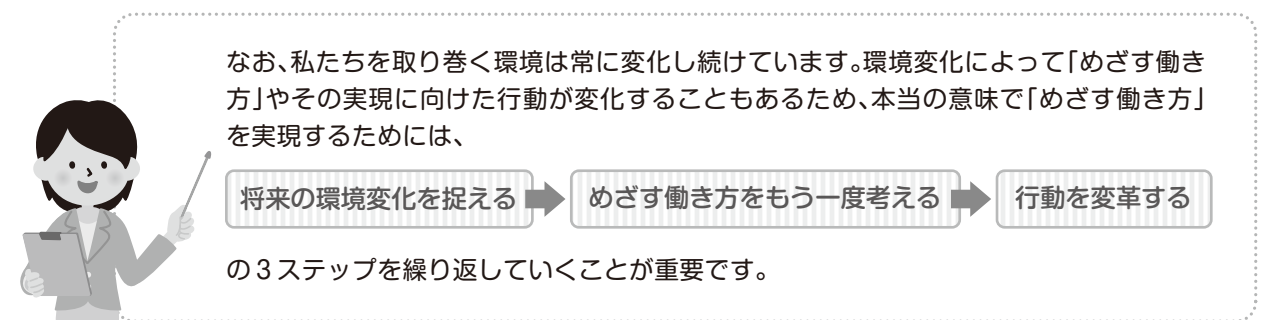
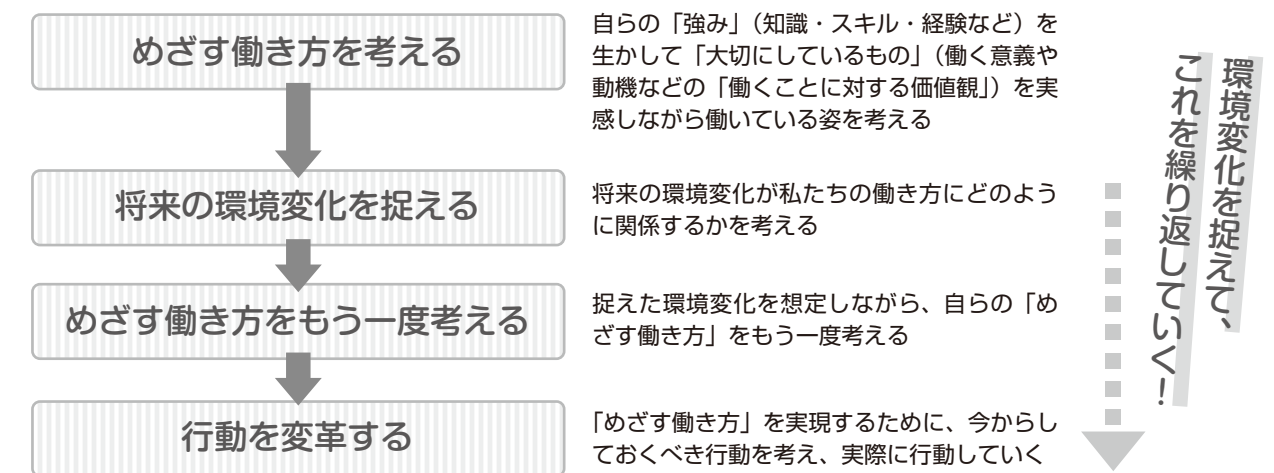
損保グループ産業においても、組合員一人ひとりが、環境変化を見据えて、内的キャリアもふまえながら「めざす働き方」を考えることが重要です。そして、その実現に向けた具体的な行動を力強く実行していくことができなければ、「働きがい・やりがい」を十分に実感しながら働くことは難しくなるでしょう。



「めざす働き方」を考え、実現するために必要なことは？

「めざす働き方」検討のプロセス

「内的キャリア」も重視し、「将来の環境変化」も想定しながら「めざす働き方」を考え、さらにその実現に向けた行動を検討していくには、下記のようなプロセスをふんで考える必要があります。まず「内省」して自分自身の「大切にしているもの」（働く意義や動機などの「働くことに対する価値観」）や「強み」（知識・スキル・経験など）を把握すること。そのうえで「将来の環境変化を把握」し、「めざす働き方」を考えていくことが大切です。さらに、そうした働き方を実現するために今から何をしていくべきか、自らの行動を見直し、「行動を変革する」ことが求められます。



📄 ここまでのまとめ

- ☑ 「働きがい・やりがい」を実感するには、自ら「めざす働き方」を考える必要がある
- ☑ 外的キャリアだけでなく、内的キャリアも重視する
- ☑ 新たな環境変化を捉えて、「めざす働き方」そのものを適宜見直していく必要がある